

適用規格					
定格	使用温度範囲	-55℃～+85℃(注1)		保存温度範囲	-10℃～+60℃(注2)
	電圧	AC 100V		保存湿度範囲	40%～70%(注2)
	電流	0.5A(信号部) 3.0A(MF端子部) ^(注3)		使用湿度範囲	相対湿度85%以下 (但し結露の無いこと)
性能					
	項目	試験方法	規格	QT	AT
構造	外觀、構造及び仕上げ	目視、寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○
	表示	目視にて確認する。		○	○
電氣的性能	接触抵抗	100 mA (DC 又は 1000 Hz) で測定する。	信号部 : 90 mΩ以下 MF端子部 : 30 mΩ以下	○	—
	絶縁抵抗	DC 250 V で測定する。	1000 MΩ以上	○	—
	耐電圧	AC 300 V の電圧を 1 分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	—
機械的性能	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。	差込力 50.0 N以下 引抜力 5.0 N以上	○	—
	繰り返し動作	500 回の抜き差しを行う。	① 接触抵抗: 信号部 100 mΩ以下 MF端子部 40 mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐振性	周波数 10～55 Hz, 片振幅 0.75 mm, 1 サイクル 5 分間 3 軸方向 各 10 サイクル試験する。	① 1 μs 以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3 軸両方向各 3 回試験する。		○	—
環境的性能	定常状態の耐湿性	温度 40±2℃、湿度 90～95%中に 96 時間放置する。	① 接触抵抗: 信号部 100 mΩ以下 MF端子部 40 mΩ以下 ② 絶縁抵抗: 1000 MΩ以上 ③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	温度サイクル	温度 -55 → +85℃ 時間 30 → 30 分を 5 サイクル試験する。 (槽の移し替え時間は2～3分)		○	—
	二酸化硫黄	濃度 25 ppm、25±2℃ 75±5%RH 96 時間放置する。 (試験規格: JIS C 60068)	はなはだしい腐食がないこと。	○	—
△の数	訂正記事		設計	検図	年月日
△					
備考			承認	HT. YAMAGUCHI	15. 10. 27
注1. 通電時の温度上昇を含みます。			検図	HT. YAMAGUCHI	15. 10. 27
注2. ここでの保存とは、未使用品に対する長期保管状態を表します。			担当	TH. SANO	15. 10. 27
注3. 1端子当たりの定格電流となります。			製図	HR. NAGAYASU	15. 10. 27
試験規格の記載のない試験方法はJIS C 5402を適用している。					
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目			図番	SLC4-349363-00	
HRS	製品規格表		製品名	FX18-80PS-0. 8H15	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL579-0051-0-00	△ 1/1